

パナマ内政・外交（2021年12月定期報告）

【ポイント】

- 3日より、パナマ政府はオミクロン株への措置として、過去14日以内に南アフリカ共和国等を含む8か国に滞在した者の一時的な入国停止措置を発表した。
- 28日より、コルティソ大統領は16歳以上の者に対するワクチン3回目接種につき、接種間隔を現状の6か月から3か月に短縮することを承認した。
- 31日、保健省はパナマのワクチン接種状況に関し、1回目を接種した人の割合は90.5%、2回目の接種を完了した人の割合は81.4%に達したと発表した。
- 3日、モイネス外相は、メキシコにて開催された第3回ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）・中国閣僚会合にオンライン出席した。
- 14日、モイネス外相は王毅・中国國務委員兼外交部長とバーチャル形式の会談を行った。
- 9日及び10日、コルティソ大統領及びモイネス外相は、バイデン米大統領主催によりオンライン形式で開催された民主主義サミットに出席した。
- 11日、コルティソ大統領は、第2回民主主義開発のための同盟に関する会合に出席するため、ドミニカ共和国を訪問した。

【本文】

●内政

1 オミクロン株に対する入国一時停止措置の発表

(1) 3日より、パナマ政府は、オミクロン株に対する措置として、過去14日以内に8か国（エスワティニ、ジンバブエ、ナミビア、ボツワナ、マラウイ、南アフリカ共和国、モザンビーク及びレソト）に滞在した者の入国を一時的に停止する旨発表した。

(2) ただし、上記の国に滞在した者の内、パナマ人及びパナマ居住許可所持者は、到着前72時間以内のPCR検査又は抗原検査の陰性証明を携行することにより入国ができる。これらの方の内、ワクチン接種完了者は入国72時間後に再検査し陰性証明を提出する必要がある。また、ワクチン未接種者は入国72時間、ホテル又は自宅で自主隔離を行い、72時間後の再検査において、陰性証明を提出することにより隔離が解除される。

2 新型コロナウイルスワクチン

(1) ワクチン3回目接種にかかる接種間隔の短縮

28日より、コルティソ大統領は、16歳以上の者に対するワクチン3回目接種につき、2回目接種から6か月としている現在の接種間隔を3か月に短縮する

ことを承認した。

(2) ワクチンの到着

12月、ファイザー・ビオンテック社（以下、ファイザー社）との直接契約分のワクチン29万9,520ドースがパナマに到着した。（本年1月から12月末までの到着合計数：ファイザー社：800万6,310ドース、アストラゼネカ社：128万6,400ドース）。12月末までに、629万7,894ドースのワクチン接種（ファイザー社及びアストラゼネカ社）が実施された。

(3) ワクチン接種状況

31日、保健省はパナマのワクチン接種状況に関し、1回目を接種した人の割合は90.5%、2回目の接種を完了した人の割合は81.4%に達したと発表した。

3 世論調査結果（Gismo Services社）

15日及び16日、当地ラ・エストレージャ紙は、Gismo Services社による世論調査結果を報じた。（調査実施日：12月5日～9日、対象：全国1800人、誤差：±2.3%）。

(1) 本日、大統領選挙が行われたとしたら、誰に投票するか？（候補者の名前を出さずに質問）

①マルティネリ元大統領（RM党）	45%
②カリソ副大統領（与党PRD）	19%
③ルークスCD党総裁	8%
④ロンバナ弁護士（無所属／前大統領候補）	5%
⑤ブランドン・パナメニスタ党総裁	7%
⑥その他	10%
⑦分からない／無回答	9%

(2) 支持する政党又は政治団体は？

①PRD党（与党）	25%
②RM党（注1）	19%
③CD党	11%
④MOCA（注2）	9%
⑤パナメニスタ党	7%
⑥モリレーナ党（連立与党）	2%
⑦民衆党	1%
⑧無所属	11%

（注1：マルティネリ元大統領は、新たに自身の政党グループ「RM（Realizando Metas：目標実現党）」を結成し、本年3月24日、選挙裁判所は「RM」を公式に政党として承認した。）

(注2 : 「MOCA (Movimiento Otro Camino) 」はロンバナ弁護士政治団体の政治団体)

●外交

1 モイネス外相のCELAC-中国閣僚会合へのオンライン出席

(1) 3日、モイネス外相は、メキシコにて開催された第3回ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体 (CELAC) ・中国閣僚会合にオンライン出席した。両地域の代表者は、政治、人権、相互的尊重及び平等といった側面における両地域の関係強化に引き続き取り組んでいくとする政治的意志を表明した。

(2) また、同会合に出席した首脳は、2022-2024年の教育、貿易・投資、金融、農業及び食糧分野の他、CELAC諸国の若手研究者に対する科学技術、公衆衛生、観光及び文化分野等における奨学金の授与といった両地域の協力分野における共同アクション・プランを承認した。

2 モイネス外相と王毅・中国外相とのバーチャル二国間会談の実施

(1) 14日、モイネス外相は王毅・中国国務委員兼外交部長 (以下、王毅外相) とバーチャル形式の会談を行った。同会談において、両国民の歴史的な絆の回復につき言及するとともに、2022年に予定されている協力プロジェクトの進展及び実施のための提案が提示された。

(2) モイネス外相より、中国をカウンターパート国に想定した、様々な社会開発プロジェクトを提案した他、高い品質基準を満たすパナマ製品の中国市場へのアクセス拡大にかかる関心につき言及した。また、王毅外相より、パナマにおける新たな投資誘致に加え、両国の貿易関係の活性化及び強化にかかる関心を高めるために、モイネス外相の中国公式訪問を招請した。

(3) 2022年の第1四半期中 (当館注 : 1月から3月に相当) に、パナマ外務省は、アジア大陸の諸国との政治・貿易及び協力関係を強化することとなるが、かかる戦略はモイネス外相の公式訪問によって補完される。

3 コルティソ大統領の民主主義サミットへの参加

(1) 9日及び10日、コルティソ大統領及びモイネス外相は、バイデン米大統領主催によりオンライン形式で開催された民主主義サミットに出席した。

(2) 同会合では、社会問題と世界の民主主義制度強化との交わりといった議題につき、協議された他、汚職対策及び人権の尊重のアップデートと強化することの重要性とともに、新たな時代の課題への民主主義的構造の適応と政府機関の保護の確保のための提案についても協議された。

(3) コルティソ大統領は同会合における演説において、スペインからの独立200周年を機にした格差削減のための社会契約に向けた国民対話を通じて、パナ

マの民主主義制度及び法の支配を強化する成功を収めた国家のプロセスを紹介した。

(4) 同会合の最後に、バイデン米大統領は、もっと一般的に行われるべきイニシアチブの一つとして、パナマ、コスタリカ及びドミニカ共和国の3か国による民主主義同盟につき称賛した。

4 コルティソ大統領のドミニカ共和国訪問

(1) 11日、コルティソ大統領は、第2回民主主義開発のための同盟に関する会合に出席するため、ドミニカ共和国を訪問した。同会合では、コルティソ・パナマ大統領、アビナデル・ドミニカ共和国大統領及びアルバラード・コスタリカ大統領に加え、上記3か国の外相（モイネス・パナマ外相、アルバレス・ドミニカ共和国外相及びソラーノ・コスタリカ外相）も出席した。

(2) 3か国の首脳により署名された「プエルト・プラタ宣言」では、米国及びEUといった戦略的パートナーに対し、不法移民、ハイチの状況及び開発のために必要な資金調達へのアクセス等、地域が直面する課題や懸念につき、可能な限り早く伝達することを確認した他、上記3か国が共有する民主主義的価値を求めて、ニカラグアでの政治犯の釈放を呼びかけるとともに、ホンジュラスの初の女性大統領に選出されたシオマラ・カストロ(Xiomara Castro)氏を祝福した。

(3) 今次会合は、本年9月22日、NYで開催された国連総会の枠組において3か国で署名された、民主主義制度強化に関する3か国同盟のフォローアップとして、10月20日、パナマ宣言が採択されたパナマで開催された上記3か国による初の民主主義開発同盟に関する会合を踏まえたものである。次回会合は、2022年上半期にコスタリカで開催予定である旨発表された。

(了)